

政策	64 雇用の創出						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	立地企業						
施策が目指す姿	地域経済が活性化され人々がいきいきと働くことのできる環境を整備すること						
成果指標	企業誘致による新規雇用者数...平成29年度目標値のべ380人						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	76.00	152.00	228.00	304.00	380.00
		実績	150.00	398.00	680.00	706.00	741.00
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	406,630	1,591,635	1,143,691	1,523,065	1,556,970	
	実績	357,202	1,565,350	1,000,886	1,526,944	2,676,751	
内部評価	貢献度	基本方針の「いきいきと働き賑わいのあるまちづくり」を進める上で、本基本施策の目標である企業誘致による新規雇用者数の確保は大きく貢献するものである。					
	達成状況	新規立地は2件あったものの、いずれも雇用の数は少なく、新規雇用は35人であった。ただしトータルの雇用者数は目標を大きく上回っている。					
	課題	企業立地の受皿となる産業団地の整備 若者・女性・中高年を含むあらゆる世代に向けた就職支援のための環境整備					
	取組方針	分譲中の団地を早期に完売し、栃木IC周辺及び平川地区の基盤整備推進を図る。雇用環境に関わる部署と連携し、情報の共有化等を図りながら、戦略的な誘致活動を実施する。					
外部評価	<p>本施策の成果指標である企業誘致による新規雇用者数は目標を実績が大きく上回っており評価に値するが、目標値の設定が妥当であったか検証されることをお願いしたい。</p> <p>内部評価にもあるように、多くの雇用を生み出すような企業の誘致を戦略的に行うことは大変有効なことと思われることから、関係部署や金融機関等と連携を深めて取組まれたい。</p> <p>また、若者や子育て世代が住みたい街として、あらゆる世代が、それぞれのライフスタイルに合わせた多様な働き方ができる環境の整備に努められたい。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	6401	企業誘致の推進				2,580,882	100
	6402	新産業創出の推進				12,565	100
	6403	多様な雇用環境の創出				83,304	100

平成29年度 基本 施策評価表 補表

施策	64 雇用の創出		
区分	妥当性	妥当	雇用の創出には、企業誘致、新産業創出の連携が必要であり、また、雇用環境の充実にも努めなければならない。
	コスト削減の余地	有	現状でも経費削減には努めているが、さらに業務作業を見直し、不要なコストを削減する余地はある。
	受益者負担	適正	企業誘致や労働環境整備における受益者負担は適正である。
	上位貢献度	有効	いきいきと働き賑わいのある街となるには、働く場所を創ることが効果的であり、雇用者数増加の貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	他の類する事業はなく、代替は困難である。
	成果向上の余地	有	立地奨励金の交付などコストの増加がともなうものの、更なる誘致活動の推進で雇用者数の増加は達成可能である。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	基本方針の「いきいきと働き賑わいのあるまちづくり」を進める上で、本基本施策の目標である企業誘致による新規雇用者数の確保は大きく貢献するものである。	
	達成状況	新規立地は2件あったものの、いずれも雇用の数は少なく、新規雇用は35人であった。ただしトータルの雇用者数は目標を大きく上回っている。	
	課題	栃木インターチェンジ周辺・平川地区の産業基盤の整備推進、及び市内他インターチェンジ周辺地区の合意形成を図る。 若者・女性・中高年を含むあらゆる世代に向けた就職支援のための環境を整備する。	
	取組方針	分譲中の産業団地を早期完売し、栃木インターチェンジ周辺及び平川地区の基盤整備推進を図る。また、雇用環境に関わる部署と連携し、情報の共有化等を図りながら、戦略的な誘致活動を実施する。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	基本方針の「いきいきと働き賑わいのあるまちづくり」を進める上で、本基本施策の目標である企業誘致による新規雇用者数の確保は大きく貢献するものである。	
	達成状況	平成25年度からの当初3年間に予定より多くの新規雇用が生み出されたため、目標とする数の倍近くの実績が達成された。	
	課題	より多くの雇用を生み出すために分譲中の団地の完売、次なる産業基盤の整備、市内他インターチェンジ周辺地区の合意形成づくり。 若者・女性・中高年を含むあらゆる世代に向けた就職支援のための環境を整備する。	
	取組方針	分譲中の産業団地を早期完売し、栃木インターチェンジ周辺及び平川地区の基盤整備推進を図るとともに市内他インターチェンジ周辺地区の合意形成を推進する。また、雇用環境に関わる部署と連携し、情報の共有化等を図りながら、戦略的な誘致活動を実施する。	